



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年7月28日

上場会社名 大日本住友製薬株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4506 URL <http://www.ds-pharma.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 多田 正世

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 エグゼクティブ コミュニケーションオフィサー (氏名) 樋口 敦子 (TEL) 03-5159-3300

四半期報告書提出予定日 平成29年8月4日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	116,297	12.4	19,731	35.6	19,844	56.4	14,410	72.2
29年3月期第1四半期	103,488	5.5	14,555	227.7	12,685	168.4	8,366	40.8

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 15,935百万円(—%) 29年3月期第1四半期△17,254百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	36.27	—
29年3月期第1四半期	21.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	808,499	472,221	58.4
29年3月期	793,950	460,656	58.0

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 472,221百万円 29年3月期 460,656百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	9.00	—	11.00	20.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	9.00	—	11.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	234,500	18.4	41,000	53.4	41,000	71.7	28,500	160.9	71.73
通期	464,000	12.7	65,000	23.2	65,000	19.6	44,000	51.8	110.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期1Q	397,900,154株	29年3月期	397,900,154株
30年3月期1Q	600,700株	29年3月期	600,484株
30年3月期1Q	397,299,572株	29年3月期1Q	397,301,155株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料の予想は、発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提条件等につきましては、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・四半期決算短信の開示とあわせて、四半期決算補足資料および四半期決算カンファレンスコール説明資料を開示しております。

・当社は、平成29年7月28日(金)に機関投資家・アナリスト向けに、第1四半期決算カンファレンスコールを開催する予定です。このカンファレンスコールの音声については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は次のとおりであります。

売上高は、日本セグメントでは、長期収載品の売上は減少しましたが、高血圧症治療剤「アイミクス」、パーキンソン病治療剤「トレリーフ」および2型糖尿病治療剤「トルリシティ」等プロモーション品の売上が増加した結果、増収となりました。また、北米セグメントでは、非定型抗精神病薬「ラゾーダ」等主力品の売上が、引き続き堅調に拡大したことにより、増収となりました。これらの結果、連結合計では1,162億97百万円（前年同期比12.4%増）となりました。営業利益は、販売費及び一般管理費は増加しましたが、増収による売上総利益の増加の影響が大きく、197億31百万円（同35.6%増）となりました。また、経常利益は198億44百万円（同56.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は144億10百万円（同72.2%増）と大幅な増益となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① 日本

「トルリシティ」の売上が大きく伸長したことに加え、「アイミクス」、「トレリーフ」およびファブリー病治療剤「リプレガル」等の増収が、長期収載品の減収を補い、売上高は370億97百万円（同3.0%増）となりました。セグメント利益は、人件費の減少や販売関連費用の削減等により販売費及び一般管理費が減少したため、119億65百万円（同7.5%増）となりました。

② 北米

主力品である「ラゾーダ」、抗てんかん剤「アプティオム」および長時間作用型β作動薬「プロバナ」の売上が拡大したことにより、売上高は601億62百万円（同27.2%増）となりました。セグメント利益は、販売費及び一般管理費は増加しましたが、増収による売上総利益の増加の影響が大きく、241億95百万円（同33.7%増）となりました。

③ 中国

カルバペネム系抗生物質製剤「メロペン」等の売上が堅調に推移したことにより、売上高は51億98百万円（同8.2%増）となりました。セグメント利益は、売上原価が増加したため、22億56百万円（同9.0%減）となりました。

④ 海外その他

「メロペン」等の輸出が減少したことにより、売上高は26億16百万円（同39.4%減）、セグメント利益は4億84百万円（同68.9%減）となりました。

上記報告セグメントのほか、当社グループは、食品素材・食品添加物および化学製品材料、動物用医薬品、診断薬等の販売を行っており、それらの事業の売上高は112億22百万円（同1.4%増）、セグメント利益は7億56百万円（同22.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産については、流動資産は、有価証券や短期貸付金等は減少しましたが、現金及び預金や受取手形及び売掛金が増加したことにより、前期末に比べ101億41百万円増加しました。固定資産は、有形固定資産や無形固定資産は減少しましたが、投資有価証券が増加したことにより、前期末に比べ44億7百万円増加しました。これらの結果、総資産は前期末に比べ145億48百万円増加し、8,084億99百万円となりました。

負債については、主として売上割戻引当金が増加したことにより、前期末に比べ29億84百万円増加し、3,362億77百万円となりました。

純資産については、利益剰余金やその他有価証券評価差額金等の増加により、前期末に比べ115億64百万円増加し、4,722億21百万円となりました。

なお、当四半期末の自己資本比率は58.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績の動向を踏まえ、平成29年5月11日に公表した平成30年3月期第2四半期累計期間および通期の連結業績予想を下記のとおり修正しました。

平成30年3月期第2四半期（累計）連結業績予想数値の修正（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	220,000	26,500	26,500	18,000	45.31
今回修正予想 (B)	234,500	41,000	41,000	28,500	71.73
増減額 (B - A)	14,500	14,500	14,500	10,500	—
増減率 (%)	6.6	54.7	54.7	58.3	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成29年3月期第2四半期)	198,088	26,731	23,881	10,922	27.49

平成30年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	450,000	55,000	55,000	36,000	90.61
今回修正予想 (B)	464,000	65,000	65,000	44,000	110.75
増減額 (B - A)	14,000	10,000	10,000	8,000	—
増減率 (%)	3.1	18.2	18.2	22.2	—
(ご参考) 前期実績 (平成29年3月期)	411,638	52,759	54,341	28,991	72.97

北米セグメントにおいて、第3四半期以降に織り込んでいたシクレソニド3製品の販売権譲渡益について、第2四半期に計上する見込みであることなどから、第2四半期累計期間の売上高は従来予想を上回る見通しです。

また、当社の業績を牽引する北米セグメントのラツダが引き続き順調に伸長を続けており、従来通期予想から1億米ドル増収の15億4千万米ドルの売上を見込むことなどから、通期の連結売上高においても従来予想を上回る見通しです。

一方、第2四半期累計期間の販売費及び一般管理費は、想定通りに推移すると見込んでいますが、通期では、研究開発費が従来予想から30億円増加する見込みです。

これらのことから、平成30年3月期の第2四半期累計期間の業績予想を、平成29年5月11日に公表した予想値に対し、売上高は145億円増の2,345億円、営業利益は145億円増の410億円、経常利益は145億円増の410億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は105億円増の285億円に修正します。

また、通期業績予想につきましても、売上高は140億円増の4,640億円、営業利益は100億円増の650億円、経常利益は100億円増の650億円、親会社株主に帰属する当期純利益は80億円増の440億円に修正します。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	71,408	93,207
受取手形及び売掛金	110,932	113,934
有価証券	34,195	20,515
商品及び製品	54,973	55,267
仕掛品	3,356	3,007
原材料及び貯蔵品	10,477	10,564
繰延税金資産	60,956	59,253
短期貸付金	16,731	14,554
その他	13,427	16,296
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	376,454	386,596
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	95,726	95,980
減価償却累計額及び減損損失累計額	△57,174	△57,796
建物及び構築物（純額）	38,551	38,183
機械装置及び運搬具	79,585	78,655
減価償却累計額及び減損損失累計額	△72,820	△72,172
機械装置及び運搬具（純額）	6,765	6,483
土地	6,264	6,263
建設仮勘定	3,112	3,106
その他	32,353	32,751
減価償却累計額及び減損損失累計額	△27,794	△28,242
その他（純額）	4,559	4,509
有形固定資産合計	59,253	58,546
無形固定資産		
のれん	90,565	88,741
仕掛研究開発	193,970	193,573
その他	19,774	18,873
無形固定資産合計	304,310	301,188
投資その他の資産		
投資有価証券	48,034	56,726
退職給付に係る資産	646	722
繰延税金資産	710	121
その他	4,568	4,626
貸倒引当金	△29	△29
投資その他の資産合計	53,931	62,167
固定資産合計	417,495	421,902
資産合計	793,950	808,499

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,514	15,486
短期借入金	40,000	40,000
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	8,000	8,000
未払法人税等	8,818	5,547
賞与引当金	10,986	5,835
返品調整引当金	11,315	11,982
売上割戻引当金	65,652	72,619
未払金	36,986	34,976
その他	22,172	24,885
流動負債合計	228,447	229,333
固定負債		
社債	10,000	10,000
繰延税金負債	32,583	32,484
退職給付に係る負債	13,498	13,551
その他	48,764	50,907
固定負債合計	104,846	106,944
負債合計	333,293	336,277
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,400	22,400
資本剰余金	15,860	15,860
利益剰余金	363,627	373,667
自己株式	△666	△667
株主資本合計	401,221	411,260
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,439	20,298
繰延ヘッジ損益	△20	7
為替換算調整勘定	45,729	45,430
退職給付に係る調整累計額	△4,712	△4,775
その他の包括利益累計額合計	59,435	60,960
純資産合計	460,656	472,221
負債純資産合計	793,950	808,499

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	103,488	116,297
売上原価	23,929	29,516
売上総利益	79,558	86,781
返品調整引当金繰入額	—	0
返品調整引当金戻入額	6	—
差引売上総利益	79,565	86,780
販売費及び一般管理費		
給料	10,069	10,205
賞与引当金繰入額	3,042	3,026
退職給付費用	1,204	958
研究開発費	19,339	19,933
その他	31,354	32,925
販売費及び一般管理費合計	65,010	67,049
営業利益	14,555	19,731
営業外収益		
受取利息	230	169
受取配当金	693	467
その他	75	34
営業外収益合計	999	670
営業外費用		
支払利息	167	117
寄付金	125	132
固定資産除却損	38	131
為替差損	2,512	147
その他	25	28
営業外費用合計	2,869	557
経常利益	12,685	19,844
税金等調整前四半期純利益	12,685	19,844
法人税等	4,318	5,434
四半期純利益	8,366	14,410
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,366	14,410

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	8,366	14,410
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△196	1,858
繰延ヘッジ損益	△130	27
為替換算調整勘定	△25,348	△298
退職給付に係る調整額	54	△62
その他の包括利益合計	△25,620	1,525
四半期包括利益	△17,254	15,935
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△17,254	15,935
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	医薬品事業						
	日本	北米	中国	海外 その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	36,023	47,281	4,802	4,317	92,424	11,063	103,488
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	13	13
計	36,023	47,281	4,802	4,317	92,424	11,077	103,502
セグメント利益	11,130	18,102	2,480	1,557	33,271	616	33,888

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品素材・食品添加物及び化学製品材料、動物用医薬品、診断薬等の事業を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	33,271
「その他」の区分の利益	616
研究開発費(注)	△19,339
セグメント間取引消去	7
四半期連結損益計算書の営業利益	14,555

(注) 当社グループは、研究開発費をグローバルに管理しているため、セグメントに配分しておりません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	医薬品事業						
	日本	北米	中国	海外 その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	37,097	60,162	5,198	2,616	105,075	11,222	116,297
セグメント間の内部 売上高又は振替高	26	—	—	—	26	20	46
計	37,123	60,162	5,198	2,616	105,101	11,243	116,344
セグメント利益	11,965	24,195	2,256	484	38,902	756	39,658

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品素材・食品添加物及び化学製品材料、動物用医薬品、診断薬等の事業を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	38,902
「その他」の区分の利益	756
研究開発費(注)	△19,933
セグメント間取引消去	6
四半期連結損益計算書の営業利益	19,731

(注) 当社グループは、研究開発費をグローバルに管理しているため、セグメントに配分しておりません。